

普及活動情勢報告（令和6年10月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

うどんこ病対策を始めよう！ ～長浜地区ピーマン現地検討会～



現地検討会の様子

9月23日、長浜地区ピーマン部会現地検討会が開催され、生産者10名が参加しました。

普及所は、毎年悩まされているうどんこ病の、発生する要因とハウス内環境の改善を中心とした対策について紹介しました。

参加者からは、「今から対策を始めた方が良いのか」「天敵への影響はどうか」など熱心な意見交換が行われました。

普及所は、今後もJAと連携し、環境データを活用した病害対策を啓発し、安定生産に向けて支援します。

技術的課題の解決に向けて ～令和6年度高知市営農技術会議総会・報告会～



研究成果発表の様子

10月7日、高知市役所において、令和6年度高知市営農技術会議総会及び報告会が開催され、農業者及び関係機関39名が参加しました。

総会では、令和5年度及び6年度の会議の運営について事務局から報告があり、全ての議案が承認されました。続いて報告会では、令和5年度の研究成果について、園芸、農産、畜産の各部会担当者から7課題の発表があり、審査員による審査が行われました。

その結果、「多収性品種「たちはるか」の栽培技術の検討」が最優秀研究事業として表彰されました。

普及所は、研究課題の設定から調査の実施、成果のとりまとめについて、JA担当者と連携して実施しました。

普及所は今後も、今後も関係機関と連携して現地における技術的課題の解決に向けた研究に取り組み、営農技術会議の活動を支援していきます。

高品質のメロン生産を目指して ～春野メロン部会現地検討会～



現地検討会の様子

10月11日、JA高知県春野メロン部会が現地検討会を開催し、生産者7名が参加しました。

今作は猛暑の中、育苗・定植を行ったことから、会ではかん水管理や暖房機、天窓などによる環境制御など、今後の管理のポイントを中心に意見交換がされました。普及所からは防虫ネットの効果検証の取組の紹介を行い、病虫害防除についても活発な意見交換がされました。

普及所はJAと連携し、春野メロン部会の生産力の維持向上に向けた活動を支援していきます。

高知市で就農しませんか？ ～れんけいこうち合同就農相談会（大阪）～



相談者に対応する職員

10月19日、大阪市で開催された就農相談会に高知市担い手協として参加し、高知市、J A高知県、指導農業士、普及所から4名が相談対応しました。

当日は4名が相談に訪れ、普及所からは就農までの流れやサポート体制について説明しました。J Aや指導農業士からは高知市の農業の概要や春野のキュウリ産地が求める人材、高知市からは研修事業について説明をしました。

相談者からは「高知産の野菜をよく見かけるので退職後に高知で農業をやりたいと考えた」「高知市の農業について知ることができ参考になった」などの意見が聞かれました。

担い手協として今回初めて県外で相談会を開催しましたが、高知に興味のある方に参加していただきました。普及所は引き続き来年度も開催できるよう支援していきます。